FREE 2019 AUTUMN vol.034
対象エリア: 西区・中区・神奈川区・保土ケ谷区・南区

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

開港の街を歩く

CONTENTS

02 まちすき エクステリアデザイナー 芦川美香さん
03 ハッピーコミュニケーション ピクトグラムに注目!
秋のお届け便 どんぐり
パパとあそぼう ユニークな芝生広場へ行こう!
04 子どもと一緒を楽しもう おすすめのまちのパン屋さん
Coupon クーポン
特集 開港の街を歩く
(1面続き)

のげやまくん

Credit スタッフ:東恵子/鳴神美穂子/船本由佳 ベイ★キッズみなとくらす〜成ヶ澤美也子 矢島加南子 本田真弓 熊谷ひかる 関口麗 中田かおる 古川栞 戸谷美帆 長谷山佐知子 竹井裕香 車田尚子 デザイン:川本智子 協力:あそびい横浜

● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部〔NPO法人シャーロックホームズ〕〒220-0002 横浜市西区南軽井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514 http://baykids.jp info@baykids.jp

＊情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 ＊紙面の無断転載を禁じます。

気づけば楽しい「景観さんぽ」

積極的に保存されている歴史的な建物、海に向かってなだらかに低くなるみなとみらいのビル群の「スカイライン」、辿ると山下公園に着く「絵タイル」。**横浜には知ると楽しさが倍増する「景観」がたくさんあります。「景観」は誰でもいつでもその魅力を享受できる街の財産。**街を歩くことの多い子育て期、景観の楽しみ方を知っているとお散歩の楽しさが増しますよ!

横浜は意識的に景観を作って来た街です。30年40年かけて建物が建て替わっていく中で民間や行政の様々な関係者が「横浜らしい」町並みや景観を作り守ってきました。ベイ★キッズ2019年冬発行の31号でも特集「まちなみを楽しもう」として取り上げてきました。

今年は5年に一度の「開港5都市景観まちづくり会議」が横浜で開かれる年です。一般参加者も受け入れる分科会の一つでは、子育て世代を含む広く一般市民が「景観」を自分ごととして捉え、自分の暮らしを豊かにする方法や意味について話し合われることになっています。

そこで、分科会を企画するメンバーたちに一般市民を代表して、日本大通り周辺のオススメの景観をベイキッズ向けに発表してもらいました。みなさんのお散歩のヒントになると嬉しいです。お散歩に最適なシーズン、イチョウが色づく日本大通りを歩いてみませんか?

日本大通り一口メモ

大火災をきっかけに火事延焼防止のため、幅が広い西洋式街路として明治時代に作られました。その後、みなとみらい線の開通と地下駐車場の設置工事のタイミングでリニューアル(2002年)し、歩道の幅を大幅に広げて歩行者に優しい魅力的な空間となりました。横浜公園から象の鼻パークまでを結ぶ約400メートルの道路に歴史的建造物が集積しています。

景観さんぽに出かけませんか?

横浜の景観エリアの一つ日本大通りは歩道も広くおさんぽにもぴったり
子どもと一緒にゆっくりみてみましょう

1. 港まで見通せる、歴史を大切にした空間

港まで一直線につながる見通しの良い並木道にするため、障害になるものは全て目立たなくしたり、違う場所に設置したりしています。地下駐車場の出入り口も別の場所に作り、排気口なども周りの建造物の色合いに合わせてデザインしています。

立ち並ぶ建物に関しても、のちに建てられた高層部分は道路から下がって(セットバック)歴史的な建物部分だけが目に入る工夫がされています。横浜公園に今年建てられたデッキから見るとよく見えます!

2. "あなたと私"の公園

ハートのタイル探してみてね!

スタジアムのある横浜公園は明治9年に港崎遊郭の跡地に作られ、外国人と日本人双方が使用できる「彼我(ひが)(あなたと私の)公園」と呼ばれていました。一角に遊具があり、子どもと遊びながら歴史をたどって散策もできます。水琴窟やハート型のタイルを探すのも楽しいですよ! 野球の練習風景が覗けるのもポイントです。(2020年にむけ改修工事中です)

3. イチョウをとことんきれいに見せている

年間通じて花と緑に溢れているのが特徴ですが、中でも色づくイチョウをとことんきれいに見せたいと、2002年の改修時に黄色味がかった自然石を敷き、アスファルトにも黄色い石を混ぜてあります。お散歩の時には、イチョウを拾いながら足元にも注目して欲しいです。足元灯の反射板にもイチョウの模様がありますよ。